

## 平成29年度 名古屋市立工芸高等学校 学校評価について

### 本校の教育目標

自分の道を、自分で考え、自分で選択し、自分で歩いていく生徒を育てる

### 本校の教育方針

- ① 広い視野と豊かな感性の育成
- ② 基礎的・基本的な知識・技術や技能の習得
- ③ 自律的に生きる人間の育成
- ④ 公共のために尽くす心、人権を尊重する心の育成
- ⑤ 社会的マナー・モラルの育成
- ⑥ 心身共に健やかで活力のある人間の育成

### 平成29年度重点目標について

## 100年の歴史を糧に、次の100年を目指して

#### ① 次の100年へ繋げる

##### 工芸高校将来構想の構築

周年行事でSI(スクールアイデンティティ)として「One by Design」を発表し、今後の工芸高校のビジョンを市民にむけて公表した。

#### ② 確かな学力の育成し、

##### 高い進路目標を実現

3年間系統立てたキャリア教育を推進し、学力向上とともに、進学・就職において大きな成果を得た。今後も特色あるキャリア教育を推進していく。

#### ③ 部活動、競技会で高い目標を設定し

##### 挑戦する意欲の高揚

技能五輪全国大会・若年者ものづくり大会に多数の生徒が出場。部活動においても各競技で大きな成果を得た。様々な場面において、工芸生が活躍した年度であった。

#### ④ 産学官・地域連携を強化した

##### 市政貢献の推進

「KOGEI DESIGN OFFICE」の活動が全市で注目を集めた。多くの事業所から依頼を受け、しっかりと対応し、生徒の大きな自信となった。また、企業や自治体と連携し、防災活動やボランティア活動も積極的に参加した。

#### ⑤ 市民への情報発信・広報活動の推進

企業へ本校の情報を発信するために、企業との情報交換を積極的に行った。また、職場定着に向けた意識調査アンケートを実施した。市民に向けて本校の活躍をアピールするために「工芸ニュース」を充実し、マスコミにもアピールした。

## 次の100年を駆ける工芸高校のビジョンの構築

今年度100周年を迎え、これまでの工芸の歴史と今後のビジョンを市民に公表し、大きな評価を得た。SI(スクールアイデンティティ)を受け、新しい教育目標を掲げ、次期学習指導要領に向けた本校の教育課程の編成準備を開始した。

グローバル化への対応、探求型学習の推進、アクティブラーニングへの対応や、産学官・地域連携を推進しながら、本校の特色でもあるデザイン教育の充実を図るとともに、学力向上に向けた取組をさらに次年度推進する。

【総務部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
総務	委員会・各種教育の充実	事務効率化に向け関係部署、専門委員会との連携の強化	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新入学者選抜にむけて早期対応と専門委員会との連携強化</li> <li>○広い視野と豊かな感性の育成のためH30年度の修学旅行を変更</li> <li>○PTA活動の活性化</li> <li>○防災教育の強化(突然防災訓練・宿泊型防災訓練・帰宅支援キット導入)</li> <li>○人権教育の充実(全クラス参加のスローガン作成)</li> <li>○現職教育の活性化(コーチング)</li> </ul>	更なる専門委員会との連携強化、設備の新規導入や更新の推進を図るとともに、修繕業務の充実
	情報管理の充実	校内ネットワーク設備の充実、校務用PCの整備、WEBサイトの更新	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○VISTA対応により校務用ノートPCの完全更新完了</li> <li>○ノートPCセットアップ講座の開催</li> <li>○WEBサイトの充実による情報発信力の向上</li> <li>○ドイツ海外研修によるWEBサイトでの情報発信の協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サーバーの更新、リース化、校内ネットワークの複線化</li> <li>○校務PCのリース化</li> <li>○ネットワークプリンターの更新、情報管理の徹底</li> </ul>

【教務部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
教務	校内の学習環境を整えるとともに、自主的な学習習慣の確立、積極的な学習集団の形成を促す。	人権教育・主権者教育について、今までの取り組みの中に位置づけるとともに、新しい実践を試みる。	A	これまでの取り組みを主権者教育の中に位置づけることにより、日々の教育活動と主権者教育の関連を意識することができた。	授業内での学習内容の定着向上を目指し、主体的な学びを醸成・支援する環境を整備する。 教員および生徒自身による学力課題の把握、学びと自身の成長の実感、学び直しの推奨と学習ツールについての情報提供、学習に対する動機づけ等を想定。
	教育課程及び類系選択制度の検証を行うとともに、指導内容及び評価方法について各科における研究・実践を支援する。	<p>類系選択制度のあり方について、各科の進路目標に照らして、学校全体としての共通理解を目指す。</p> <p>各教科・科で取組むアクティブ・ラーニング型授業の実践例を集約・共有し、より効果的な授業の研究を支援する。</p>	A	<p>現行教育課程の検証を試み、検証方法や教育課程編成時の留意事項等の課題が見えた。</p> <p>アクティブ・ラーニングについては校内の実施状況を把握し、教員間の情報共有や授業研究のきっかけづくりを行った。</p>	次期学習指導要領改訂を見据えたカリキュラム編成の研究。生徒の進路希望に合ったカリキュラムマネジメントの計画に繋げる。

【生徒指導部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
指導	校内体制の整備、情報の共有化に努め、組織的な生徒指導体制の確立を目指す。	サポート委員会等の実施 身だしなみ指導を学科主体の新体制に移行 学年会、学科、他分掌との連携強化	A	各種委員会の情報を全職員で共有し、予防的生徒指導に取り組むことができた。 身だしなみ指導を新体制に移行し、指導部だけではなく多くの教員で指導、見守る体制を作ることができた。	遅刻の多い生徒のもつ生活環境、心の悩み等を改善できる指導体制の確立
	生徒がより良い人間関係を築き、学校生活を意欲的に送れるように指導する。	いじめアンケートの実施 生徒の生活環境把握 いじめ対策委員会等による情報の共有 教育相談の実施 教育相談フェアの開催	A	いじめアンケートを実施し、早期発見、対応を行った結果、生徒に寄り添った対応を行う事ができた。 教育相談フェアを実施し、生徒指導部に生徒が相談しやすい環境整備に努めた。	いじめアンケートの内容、実施方法の見直し、改善 教育相談のさらなる充実

【進路指導部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
進路	インターンシップの充実について	就業体験先の新規企業の開拓、就業体験日誌の一部改訂、就業体験報告集のリニューアルについて。	A	就業体験先の新規企業することができた。引き続き、企業開拓を続けていきたい。就業体験報告集のリニューアルができた。	引き続き、就業体験を発展させて生徒の進路設計の一助になるように役立てたいと考える。就業体験報告集の更なる改善をしていきたいと考える。
	学校と企業等の情報交換を可能にするネットワークづくりの検討	学校と企業との情報交換を積極的に行う。また、産学官の情報交換ができるようなネットワークづくりの検討を行う。	A	企業との情報交換は就業体験受け入れ企業、求人企業、などを行った。また、求人企業に対して簡単な職場定着に向けた意識調査アンケートを実施した。さらに、企業のみならず、産学官の情報交換を国土交通省(中部地方整備局含む)、愛知県庁産業労働部、建政部、愛知県建設業協会、愛知県左官業協同組合、愛知県職業能力開発協会などと情報交換を行った。	今年度は、企業との情報交換の一つとして、求人企業に対して職場定着に向けた意識調査アンケートを実施してみた。アンケートを集約してより企業の実情を知り、生徒のマッチング向上につなげたいと考える。引き続き、企業とのネットワークづくりを続けていきたいと考える。

【生徒会部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
生徒会	連携強化された生徒会執行部と各委員会の委員会活動を行うことで、生徒主体の学校行事と生徒会活動をより活発化させる	○生徒が中心となって行事の企画や運営を行う ○執行部が各委員会に参加し連携を図る	A	○工芸祭や球技大会、それぞれの委員会活動など生徒自身が企画し、運営することができた。 ○執行部が各委員会に参加し、連携を図ることができた。	執行部や各委員会がさらに活発に活動し、生徒議会を充実させ、生徒会活動をより良いものにしていく。
	部活動の広報活動を充実させ、学校全体で支援できる環境を整える	○各部活の大会日程などを広く広報する。 ○部活動の環境整備に伴う予算措置を行う。	A	○部活動の環境整備に伴う予算措置を行い、環境充実を図ることができた。 ○部活動に清掃担当を割り振り、清掃を行うことができた。	部活動の試合や大会の日程や結果などの広報活動を積極的に行い、学校全体で盛り上げていきたい。

【保健部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
保健	健康的な生活習慣を身につけ、心身ともに豊かな学校生活を送れるよう指導・助言する。	保健委員を主体とした保健だよりによる喚起を行った。心の木箱コラムの精選。保健室での個別対応を行った。	A	コラムの精選により、食に対する関心や個人に応じた保健指導を的確に行うことができた。	卒業後も健康的な生活習慣を持続できるように働きかけを継続していく。
	生徒指導部・教務部と連携し教育相談の充実を図り、職員に対して合理的配慮が必要な生徒に対する理解と校内支援体制の更なる充実を図る。	教育相談係を中心とするカウンセラーとの意見交換会を実施した。サポート委員会を積極的に活用した。	A	情報を共有する必要がある生徒への共通理解や対応方法につながった。サポート委員会を通じて、生徒の学習状況や欠席状況を加味しながら、進むべき方向性を担任、各分掌と話し合うことができた。	合理的配慮に対する共通理解と実践をさらに円滑に進めていく必要がある。

【図書部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
図書	生徒の図書館利用の促進	本を読む楽しさを、より多くの生徒に知ってもらうため、一人でも多くの生徒が図書館に足を運びたいような図書館づくりを図書委員とともに進行	A	図書委員の生徒が自ら考え、工夫を凝らし様々な企画の運営や通信の作成に取り組み、より魅力のある図書館になった。	依然として貸出し冊数が伸び悩んでいるため、より多くの生徒が借りたいような仕掛けづくりが必要だ。
	図書館の授業利用の促進	図書館の活用法についての学習を深め、授業で多く利用してもらえるよう教員に発信する	A	学習会、書籍などから得た情報を教員に発信した。また、必要だと思われる書籍を購入した。	情報も大切だがもっとインフラの整備も進め、図書館からメディアセンターへと生まれ変わらせたい。

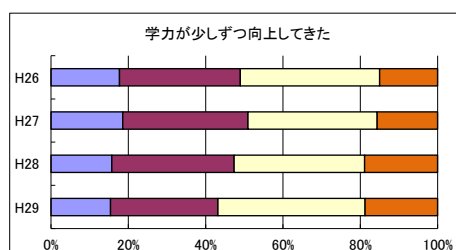
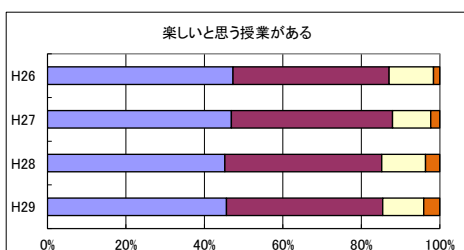
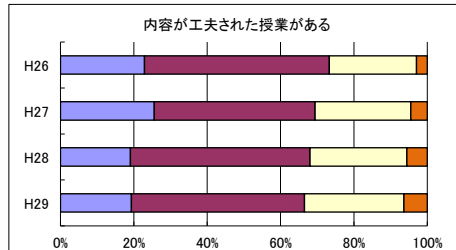
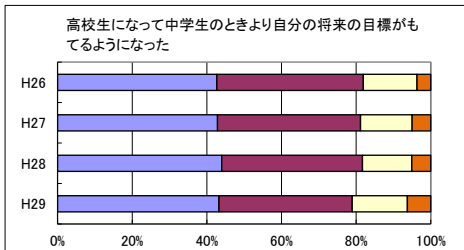
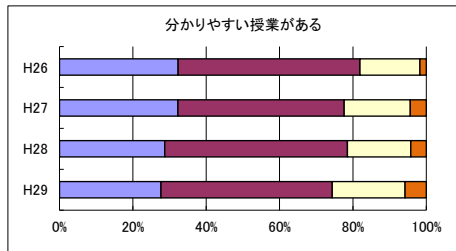
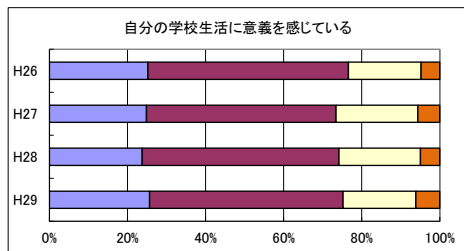
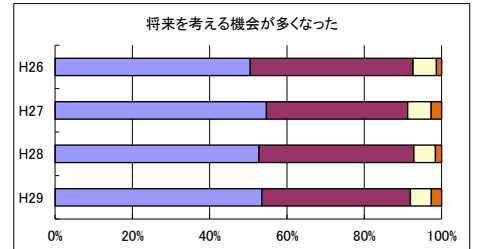
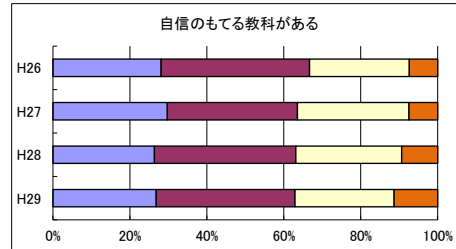
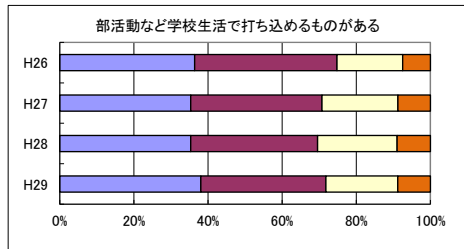
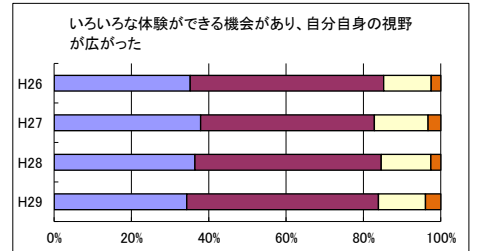
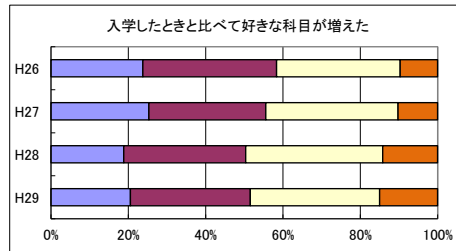
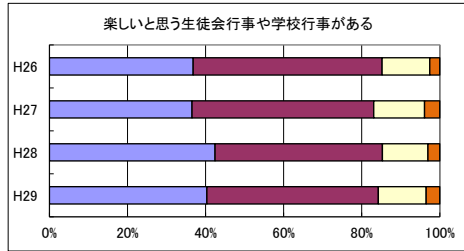
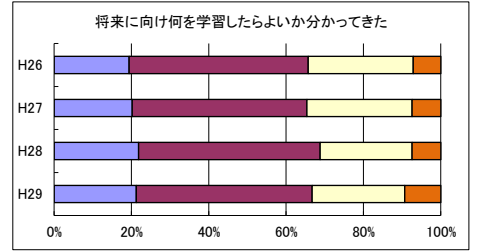
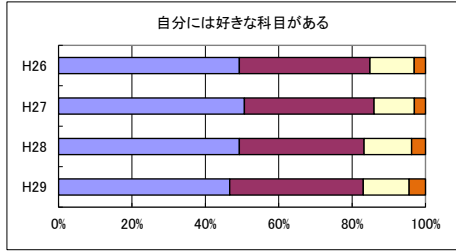
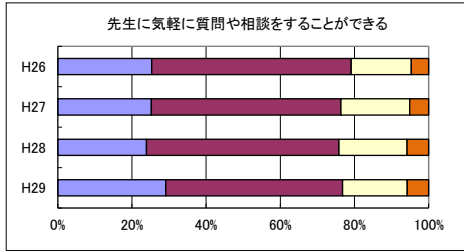
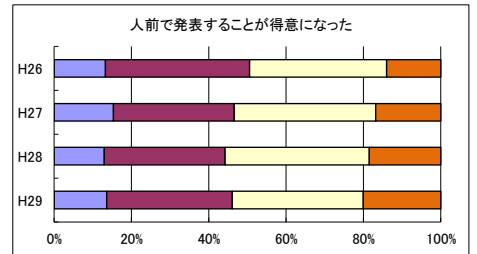
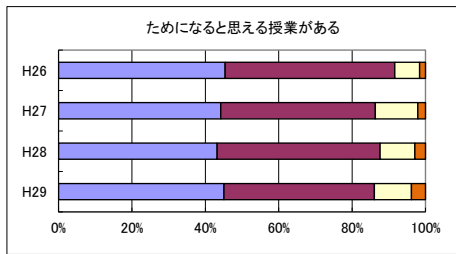
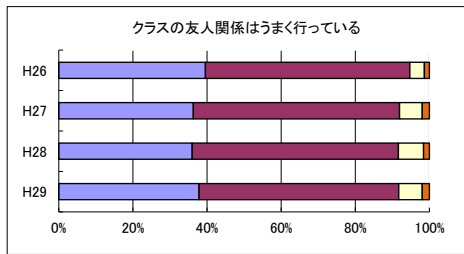
【工務部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
図書	生徒の図書館利用の促進	本を読む楽しさを、より多くの生徒に知ってもらうため、一人でも多くの生徒が図書館に足を運びたいくなるような図書館づくりを図書委員とともに行う	A	図書委員の生徒が自ら考え、工夫を凝らし様々な企画の運営や通信の作成に取り組み、より魅力のある図書館になった。	依然として貸し出し冊数が伸び悩んでいるため、より多くの生徒が借りたいくなるような仕掛けづくりが必要だ。
	図書館の授業利用の促進	図書館の活用法についての学習を深め、授業で多く利用してもらえるよう教員に発信する	A	学習会、書籍などから得た情報を教員に発信した。また、必要だと思われる書籍を購入した。	情報も大切だがもっとインフラの整備も進め、図書館からメディアセンターへと生まれ変わらせたい。

【広報企画部】

分掌	重点目標	具体的方策	達成度	達成状況	次年度への課題・改善
広報企画	安定した受検者確保のために情報を収集し分析をする。	情報の収集 ・入試状況の分析 ・希望調査等の分析	B	限られた情報でおこなうため、正確な分析が難しい。	H30年度入学生の入試の結果を分析し、次年度の広報活動などに反映するように計画をする。
	校外広報活動の企画・立案を行い、関係部署との調整を図る。	・中学校訪問の企画・立案 ・進路説明会、上級学校説明会の対応 ・入学案内、学校パンフレットなどの製作	A	現時点での広報活動は、人員や予算を考えると達成されている。	現在の広報活動の工夫や、中学校訪問については効果的な方法を考えることも必要である。

# 学校生活アンケート(全校) 平成26年度から平成29年度の比較



## 凡例

- とても思う
- まあ思う
- あまり思わない
- まったく思わない